（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスめぐみ

公表日　2026年　1月　30日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	曜日によっては限られたスペースになってしまうが、パーテーションを使い落ち着いて過ごせるよう工夫している。	今後も個々のお子様の様態に応じ、配置等を工夫しながら、十分な活動スペースの確保に努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	1	人が足らない時には応援に来てもらっている個別対応児童がいると足りないと思うこともある。 その日の人数によってはスタッフの人数に対し子供が少なかったり、逆にスタッフの人数に対し子供が多かったりして手厚い支援が行えないこともある。 その曜日によって異なる。	保育士、児童指導員、社会福祉士、作業療法士（兼務）など、児童分野での経験と専門性を備えた職員を基準人員２名以上配置しています。今後も適切な職員配置に努め、より良いサービスの提供を心掛けます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0		今後もわかりやすい構造、発達状況に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	活動ごとに部屋が分かれている	今後も清潔で心地よく過ごせるよう、清掃の徹底及び感染対策を継続します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	もう少し個別の空間があったらいいなとは思う。 パーテーションの上手く使用し、遊びのスペースを分ける事ができる。	今後も必要に応じて、お子様が個別の部屋や場所を使用できるよう支援します。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0		今後も毎日、全職員が参画したフィードバック会議を継続して行い、PDCA サイクルに基づいた業務改善、個別支援計画作成に反映します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		今後も自己評価を通じて、保護者様等の意向等を把握する機会を設け、その内容を業務改善に反映します。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		今後も毎日のフィードバック会議や職員会議を通じて、職員の意見等を把握する機会を継続して設けます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0		今後も定期的に第三者による外部評価を受け、評価結果を業務改善に反映します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0		今後も研修の情報収集と情報提供を行い、積極的に研修に参加していただける機会を確保します。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		今後、支援プログラムの内容を確認し、公表します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0		今後もアセスメントを適切に行い、お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成します。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		今後も放課後等デイサービス計画は個別支援会議等を通じて、全職員が共通理解の下で作成されるよう、情報共有します。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	8	0	フィードバック会議や支援会議を行い、共通した関わり方ができている。	今後も放課後等デイサービス計画は個別支援会議等を通じて、全職員が共通理解の下で作成されるよう、情報共有します。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		保護者様同意の元、外部で受けられた発達検査結果を確認させて頂き、職員間で情報共有しています。それを元にアセスメントして、支援に反映します。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		「本人支援」、「家族支援」については、今後も引き続き、めぐみでの活動を通じて支援させて頂きます。「移行支援」及び「地域支援・地域連携」については、地域の学校から利用されているお子様が多いので、必要に応じて、めぐみでもどの程度の支援や関りを持てるのかを検討していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		今後もフィードバック会議等を通じ、チームで活動プログラムの立案を行います。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		今後も一人ひとりの課題や状況に応じたプログラムを実施します。プログラム実施後はフィードバック会議を行い、改善点や反省点等を次回のプログラム立案へ繋げます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	集団活動は今後できる機会を増やして行きたい。終礼でも集団活動ができるように取り組んでいる。	今後もお子様の状況に応じて、計画的に個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	長期休みには個々でのやり取りになるがフィードバック会議を行っている。	今後も支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	7	1	すぐにはできないが次の週に振り返りを行っている。 個々では情報共有ができている。 その日中ではない場合もあるが、次の支援までに振り返る時間を持っている。 支援終了後はスタッフ退勤時間がそれぞれ違うので出来ていない 。	勤務の関係上、当日の振り返りは難しいですが、次回利用時までには必ず振り返りをしています。今後も継続して振り返りを行い､気付いた点等を共有して、支援へ反映していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		今後も日々の支援に関して記録は徹底して行い、次回の支援時間前にフィードバックする事で支援の内容確認、検証、改善に反映します。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		今後も定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行います。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8	0		今後も「４つの基本活動」に示されている取り組み姿勢を意識し、また複数組み合わせて、お子様の自己選択や自己決定を尊重した支援を行います。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		今後もコミュニケーションブック等を活用して、自己選択、意思表示が困難なお子様の意思を極力、くみ取れるように努めます。
関係機関や保護	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		日々の支援やフィードバック会議を通じて、全職員がお子様一人ひとりの状況を把握しており、よく理解した者が関係会議に参加しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	家庭、学校関係との連携を主に他の放デイとの連携も行えている 。	送迎時や関係機関会議等を通じて、常に話ができる関係にあります。今後も関係機関と連携して支援を行います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	LINEや連絡ノート、電話等のツールを利用することで柔軟に対応できている。（保護者さんも連絡しやすく、確認もしやすいと思っている）	今後も学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行い、適切な支援ができるよう努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0		今後も「サポートファイル」の活用を中心に、就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等と連携し、情報共有と相互理解に努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0		今後も個人情報の管理規定に基づき、必要があれば、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行される場合、支援内容等の情報を提供します。

護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	8	0		地域に児童発達支援センターがなく、連携できていない為、施設内研修等で専門の方にスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けれるよう努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	同じ曜日に来ている他校の子との交流はある。	地域の小学校から通っておられるお子様が多い為、地域との交流はしていません。支援時間の関係もあり、可能であれば、取り組みの検討を行います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0		自立支援協議会等で出た課題や意見は事業所内でも共有し、解決方法があれば、協議会にて共有し、同じ課題を抱えている場合は、協議会で解決方法を検討頂きます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		送迎時やモニタリング時、また連絡ノートの活用等を通じて、お子様の状況を保護者様と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持ちます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5	ルーチェの会等のお知らせを行っている。	プログラムとしては行っていませんが、 日々、相談の受付や助言、情報提供は行っています。研修やその他の情報があればLINEでお知らせします。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		今後も契約時には、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行います。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		今後も放課後等デイサービス計画を作成する際には、お子様や保護者様の意思の尊重、お子様の最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、お子様や家族様の意向を確認する機会を設けていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	8	0		今後も「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から支援計画の同意を得ます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	モニタリングや連絡ノート、LINE等で相談ができる。	今後もモニタリング時を中心に必要に応じて、ご家族様等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行います。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	1	保護者の会（茶話会）のお知らせを行っている。 兄弟同士の交流は出来ていない。	今後も保護者様同士の交流の場（茶話会）の開催のお知らせや場所提供を行います。またイベント開催時にごきょうだい、保護者様の参加も呼びかけます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		今後もお子様や保護者様からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応します。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		今後も定期的に通信等を発行したり、ホームページやSNS等を活用し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をお子様や保護者様に発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		今後も法人の個人情報管理規定に基づき、個人情報の取扱いに留意します。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		今後もお子様や保護者様にとって理解して頂きやすいよう、また情報共有しやすいように手段を考え、意思の疎通や情報伝達のための配慮に努めます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		放デイめぐみ単独では行っていませんが、法人の感謝際への協力を通じて、地域の方に施設を見て頂いたり、地域に知って頂けるよう努めます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2		各種マニュアルは策定していますが、周知するまでには至っていませんので、今後はホームページに掲載する等、周知できるように努めます。またマニュアルが活かされる訓練を実施できるよう努めます。

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		火災の避難訓練は行っていますが、今後は地震や水害に対する訓練も計画して、実施できるよう努めます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		今後も契約時の情報聞き取りの際に、服薬や予防接種、てんかん発作等のお子様の状況を確認させて頂きます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	アレルギーの有無を確認している。 医師の指示書まではない。	基本的にこちらから食事の提供はしませんが、提供する場合はご家族にお聞きし、安全におやつ、食事提供ができるように努めます。安全の為、アレルギーのあるお子様には提供していません。またイベント等でおやつを提供する事があれば、事前に保護者様に確認させて頂きます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		今後も恵生園と合同で、安全管理に必要な研修や訓練を行い、安全管理が十分された中で支援が行えるよう努めます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	8	0		今後も契約や支援計画の説明の際に安全計画に基づく取組内容について、保護者様等へ説明します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		今後も職員会議にて事故、ヒヤリハットを事業所内で共有し、防止策を検討し、再発防止に向けた方策について検討していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		今後も虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をします。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0		身体拘束は原則行いませんが、安全確保の為、やむを得ず身体拘束を行う場合は、どのような場合にどのように身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で実施し、児童発達支援計画に記載します。